

國 民 の 皆 様 へ



結城 章夫
山形大学長

平成23年3月の東日本大震災とその後の原発事故により、東北の風景は一変してしまいました。山形大学のキャンパスからは、ボランティアバスが繰り返し被災地に出掛けています。これに参加した学生達は、人生観を変えざるをえないような体験をしています。

山形大学は、東北に所在する総合国立大学として、総力を挙げて東北の復興と新生に貢献していかなければなりません。このため、東北の他の国立大学等と連携・協力をしながら、「東北創生研究所」の設立、「災害復興学」の研究、最先端科学技術の研究拠点の東北への誘致などに取り組んでいるところです。

私は、山形大学の主役は学生であり、学生を何よりも大切にしたいと考えています。受け入れた学生の一人ひとりに丁寧できめの細かい教育を行うこと、そして豊かな教養と優れた専門性を備えた卒業生を社会に送り出すことが山形大学のミッションです。このため、教養教育のカリキュラムを抜本的に見直し、平成22年度の新入生から、基盤教育(新しい教養教育)を提供しています。現在は、学部教育全体の質的転換や有機エレクトロニクスの世界的な研究拠点の整備などに全力で取り組んでいます。

山形大学が、何よりも学生を大切にして教育を重視する大学として発展し、国民からの負託に応えていけるように、私と5人の理事・副学長、そして2,100名の教員・職員は、気持ちを一つにし、力を合わせて努力してまいります。今後とも、国民の皆様のご理解とご支援をよろしくお願ひいたします。